

2011 WINTER

Vol.3

社団法人 巨樹の会

新武雄病院

おおくす

Contents

蒲池会長が語るこれからの10年

部門紹介 放射線科医の仕事／イベント紹介

食事で免疫力を高めましょう！／たけおじゃら〜ん



新春インタビュー 蒲池会長が語る 19床から1984床へ これからの10年

1974年、19床でスタートした下関カマチ病院から36年。カマチグループは病院12、学校6を運営する医療法人として成長してきました。これからの10年間は回復期のリハビリテーションにも一層力を入れ、今後、首都圏で10~20の回復期医療施設を新設し、高齢化社会の医療に携わる者としてスタッフ一同、最善の努力を続けます。

Q いつも医療の最前線を疾走しているように見受けられますが

蒲池 下関カマチ病院を開院したときから「厚生省(当時)の政策を10年先取りして動かねば」と考えてきました。当時、救急対応していたのは当院と久留米の聖マリア病院くらいで、普通に治療をすれば助かる患者さんが手遅れで亡くなっていました。国内で事故に遭えば、ベトナム戦争の戦場よりも死亡率が高かったのです。小倉に小文字病院を開院し、よその病院が受け付けられない患者さんを、うちの技術と医学知識で治療し、全体をレベルアップさせてきました。福岡、北九州の医療現場から「トライ回し」を無くしたのです。

Q 医療搬送用ヘリコプター「ホワイトバード」も活躍していますね

蒲池 24時間365日体制のER救急センターは十分に機能しています。救急はスピードが勝負です。地上を救急車で時間をかけるよりヘリで拠点病院に搬送し、ICUで治療を受けることで救命率は上がります。医師や看護師、パイロットや整備士が常駐し、救急に備えています。

Q ユニークな施策で話題になっている武雄市の樋渡啓祐市長。長年、赤字だった武雄市民病院も巨樹の会が運営を始めてから順調なようです

蒲池 市民の健康や生活改善に熱心な樋渡市長さんと一緒に、病院のお手伝いをさせていただきました。市民の皆さまにも喜ばれているようです。現在、新しい病院を建設中で2011年には竣工します。急性期や回復期と合わせて135床の規模になる予定です。

カマチグループ関連病院 (平成22年10月1日時点)

福岡和白病院 ①福岡市東区和白丘2-2-75 ②317床 ③急性期 (PT32名) (OT18名) (ST4名)	香椎丘リハビリテーション病院 ①福岡市東区下原2-24-36 ②120床 ③回復期 (PT36名) (OT34名) (ST9名)	下関リハビリテーション病院 ①山口県下関市今浦町9-6 ②165床 ③回復期 (PT55名) (OT46名) (ST11名)	新上三川病院 ①栃木県河内郡上三川町上三川12360 ②209床 ③急性期+回復期 (PT150名) (OT36名) (ST5名)
新小文字病院 ①北九州市門司区大里新町2-5 ②229床 ③急性期 (PT34名) (OT30名) (ST17名)	福岡新水巻病院 ①福岡県水巻町立屋敷1-2-1 ②212床 ③急性期 (PT24名) (OT25名) (ST5名)	所沢明生病院 ①埼玉県所沢市山口5095番地 ②42床 ③急性期 (PT7名) (OT4名) (ST1名)	
新行橋病院 ①行橋市道場寺1411 ②246床 ③急性期+回復期 (PT36名) (OT27名) (ST4名)	新武雄病院 ①佐賀県武雄市武雄町大字富岡11083 ②135床 ③急性期+回復期 (PT23名) (OT15名) (ST3名)		明生リハビリテーション病院 ①埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2 ②111床 ③回復期 (PT42名) (OT23名) (ST9名)
みどり野リハビリテーション病院 ①神奈川県大和市中央林間2-6-17 ②115床 ③回復期 (PT30名) (OT22名) (ST4名)		八千代リハビリテーション病院 ①千葉県八千代市米本1808 ②83床 ③回復期 (PT27名) (OT23名) (ST10名)	

総ベッド数: 1984床
 セラピスト合計 764名
 (PT合計 396名) (OT合計 303名) (ST合計 72名)

①住所 ②病床数 ③病床区分

Q 首都圏に5つの病院があり、うち4つは回復期リハビリテーション病院ですね。

蒲池 誰もが高齢化して行きます。将来は医療費のほとんどが老人医療に占められることは明白です。日本の年間医療費は約35兆円で、ほかに高齢者の介護費が10兆円かかっています。国は医療費抑制に力を注いでおり、10年先を読んで対応できない医療機関は今後、脱落していくでしょう。そこで、この先、10年で首都圏に10～20の回復期施設を展開し、そこでの地域医療に尽くしたいと考えます。

Q リハビリテーション重視はいつごろから

蒲池 下関で救命医療に励んでいたとき、当時18歳の若いセラピスト山崎嘉忠君が就職してきました。当時は早期のリハビリはいけないとされていました。しかし、彼が手術後の患者さんにリハビリを施すと、何もリハビリをしない患者さんと予後が違っていました。あきらめていた患者さんもその様子を見て、生きる希望が湧き、リハビリに向うようになったのです。

Q だから多くのPT、OTを育成されているのですか

蒲池 急性期病院の医師は患者さんの生命を救うことに全力を傾けます。一方、患者さんからすれば命が救われた後は、健康だったころの「日常生活動作(ADL)」の回復を考えます。歩行、食事、衣服の着脱や排泄、入浴などの動作です。救命がADL回復のスタートで、診断がついた時点からリハビリが始まります。後遺症が発生した患者さんでも3ヶ月から半年リハビリを受けることで約8割はADLレベルが回復し家庭に戻れるようになります。

しかし看護師、PT、OTや言語聴覚士(ST)はまだまだ不足がちで、6つの専修学校で育成を続けています。

Q 今後は首都圏でも池友会イズムを発揮ですか

蒲池 病院の運営はオーケストラの演奏によくたとえられます。ヴァイオリンやフルートなど実に32種類もの楽器が指揮者のタクトの元で最高の演奏を聴かせます。病院も医師だけでなく看護師や薬剤師、技師、訓練士、事務、厨房、清掃など全職種が責任を果たしてこそ全体のハーモニーが生まれ、最高の医療現場となります。私は今後も「手には技術、頭には知識、患者さまには愛を。」をテーマに命を懸けて進みます。基本は救急救命です。レベルアップを進行したい。それを支えるリハビリです。



■ 蒲池 真澄 (かまち ますみ)

社会医療法人財団池友会特別顧問理事、カマチグループ会長。1940年4月14日、福岡県八女郡黒木町生まれ。蒲池家は江戸中期から医師で会長が9代目。九州大学医学部卒。虎ノ門病院、九大大学院医学研究科、下関市立中央病院、福岡大学医学部を経て1974年、下関市で救急指定の下関カマチ病院を開院し独立、1981年北九州市小倉北区に小文字病院、1987年福岡和白病院を開設し院長に、2003年からは会長に就任。



部門紹介

放射線科医の仕事

～画像診断とIVRについて～

放射線科部長 落合 礼次

宮崎医科大学医学部医学科 / 日本医学放射線学会専門医
日本IVR学会専門医 / PET核医学認定医 / 医学博士(宮崎医科大学)



放射線科医の多くは、CTやMRI等を使って適切な画像を撮像し、その画像を解析してレポートを作成する画像診断医として勤務することが多いと思われます。その守備範囲は頭から足先まで、がんを始めとする腫瘍の診断や動脈硬化性病変、炎症性疾患、骨軟部疾患、外傷等と多岐にわたります。加えて当院ではIVR(InterVentional Radiology)も施行可能です。IVRとは聞き慣れない言葉と思いますが、敢えて日本語で申しますと画像診断技術の治療的応用と訳されます。現在では循環器医が施行する心臓の冠動脈、脳外科医が施行する頭部の脳動脈に対してのステント治療等が有名ですが、それもIVRの1つです。自分が生業としてやってきたものに、代表的なものでは気管支動脈を塞栓する咯血の治療、肝臓がんに対するTAE(肝動脈塞栓療法)、腸骨動脈の狭窄・閉塞に対してのステント治療、外傷等による出血に対する血管塞栓術などがあります。図の如く具体例を示しますと、足の付け根の大腿動脈からカテーテルという管を目的とする動脈に挿入して造影(図1)し、更に細いカテーテルを栄養動脈に誘導(図2)してゼル状の物質を注入して血管を塞栓(図3)し、栄養動脈の血流を遮断することにより腫瘍を縮小させるといった具合です。こうすることで正常な部分を出来るだけ温存して、治療することが可能となります。この治療法であれば体の皮膚面の傷は、足の付け根の5ミリ程度だけで済みます。

当院では、1.5テスラMRI、64列のCT、血管造影装置等を駆使し、画像診断やIVRを行っています。これらの領域は日進月歩であり、乗り遅れないように日々の業務の更なる向上を目指しています。院内はもちろん、地域の医療施設の方々にも気軽にご利用して頂けるように頑張りたいと考えています。



図1



図2

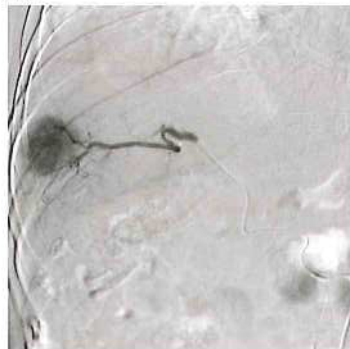


図3



第一回 新武雄病院学術講演会

平成22年10月29日(金)に、第一回・新武雄病院学術講演会が行われました。

新武雄病院からは、脳神経外科の大中洋平先生より「当院における脳卒中患者の動向」、院長代行で脊髄脊椎外科の西田憲記先生より「腰部脊柱管狭窄症の外科治療と問題点」の講演を行いました。

そして、久留米大学名誉教授でもあり、聖マリア学院大学教授の中山和道先生に「生涯臨床外科医」の特別講演を行って頂きました。中山和道先生の若者に負けない手術を行っている情熱や、長く臨床の場に立つために努力されている姿勢を話されると、会場は熱気に包まれ、参加者全員が話しに引き込まれていました。

院内や関連病院の医師、職員はもとより、地域の医療機関の方々も数多く参加され、充実した学術講演会となりました。

学術講演会の後には懇親会が開かれました。普段は顔を合わせる事の少ない医師や職員も医療関係者同士。こういった集まりになれば、皆すぐに打ち解けた様子でした。方々で、仕事の話やプライベートな話で賑わいました。

当院の学術講演会に参加して頂き、ありがとうございました。



消防訓練が行われました

平成22年11月26日(金)消防訓練が行われました。

消防署の協力のもと患者役も分担し、病棟での初期消火、通報、患者誘導・搬送、避難所での対応等、実際の火災を想定し本番さながらの訓練となりました。

終了後、大塚防災管理室長、消防職員、竹井防火管理者、副院長からの検証報告があり、いくつかの問題が提起されました。参加した職員も真剣に耳を傾け、今後のルール作りの必要性を強く感じたようでした。

海外研修旅行に参加して

10月8日～10月16日の9日間、海外研修旅行(ラスベガス～シカゴ)へ参加させていただきました。

ラスベガスにて観光後、レンタカーにてグランドキャニオンへ向かいました。壮大な景観に圧倒されましたし、自分の悩みなんて小さなものだなあ...と、元気づけられたように思います。その後は東のシカゴまで計3,500kmをレンタカーにて走破しました。タクシーの運転手さんも「クレイジーだ」と感心してくださいましたし、計4人での旅でしたが、今後も経験することのない、貴重なものとなりました。

途中のミルウォーキーで、オーロラ病院とGE工場(CTやMRIを製造している会社です)を見学しました。オーロラ病院はアメリカ国内でグループ展開している病院で、最新鋭の設備や患者さんの満足度を追求したアメニティには驚きました。その反面、高額な医療のため、なかなか満足な医療を受けられない人々も多くいるという現実もあるようです。ミルウォーキーでは、他にミラー工場(ビール会社)とハーレーダビットソン工場(バイク会社)が有名です。

最終日には、シカゴの趣のある街並みを堪能をし、



帰国しました。毎日、ファーストフードでランチ、夕食はステーキの生活で一回り大きくなって帰ってきました。海外にいと、日本の良さをしみじみ感じます。その思いを忘れないように、精進していきます。皆さん、御多忙の中、長期参加させていただきありがとうございました。

(整形外科 久)



武雄温泉秋祭り市民綱引き大会に参加して

10月22日(金)に開催されました綱引きに参加しました。本来であればグループ病院慣例の夏祭り(海水浴)を行う予定でしたが、海が遠いということで苦慮していたところに今回のイベント話が入ってきました。仕事も遊びも一生懸命のグループ理念に沿って同時に病院職員・家族の親睦会も兼ねて盛大に行うこととなりました。

当日は、約150名が参加しバーベキューで親睦を図ることができ大変満足いくイベントとなりましたことを喜んでいきます。

しかしながら、肝心の綱引き大会は揃いのTシャツで参加しましたが、満足いく結果とはならず悔しい思いをされた方も多かったです。

ただ、初参加ということで勘を掴み、来年度の雪辱に向け日々練習に励んでいる職員も居ることでしょう(笑)。

当日、御協力頂きました商店街の皆様、関係各位に感謝申し上げます。選手の皆さん「お疲れした！」来年も頑張りましょう。

(医療技術部長 野村)



院内旅行 2泊3日沖縄旅行



9月にリハビリスタッフ7名で2泊3日沖縄旅行に行ってきました。琉球ガラスや沖縄料理、バナナボートと沖縄を満喫しましたが、一番感動し印象に残ったのはスキューバダイビングです。慣れないなか海に潜る事は大変でしたが、澄み切った海の中は絶景で、周りの魚たちと一緒に泳ぎ自然と一体になれる感覚でした。機会があればまた行きたいです。スキューバダイビングをしたことがない方はぜひ挑戦してみてください。(リハビリテーション科 野口)



武雄中学校2年生職場体験学習

血圧測定と車椅子介助方法を体験中の、西野菜良子さんと東島綾美さんです。

この体験学習は、生徒が仕事の大切さや厳しさ、様々な職業への理解、自分の進路について考えを深める。又働く事を通して、模範意識や挨拶、言葉遣い等の礼儀やマナーを身につける事を目的としています。当院には2名が来ました。看護体験だけでなく、リハビリ科・放射線科・検査科体験、昼食は患者食を

食べてもらう等多くの事を体験してもらいました。

西野菜良子さんの職場体験を紹介します。

私が体験や仕事の様子を見ていく中で「すごい」と思った事や感じた事。

1つ目は、患者さんの関わり方です。入院や診察に来る患者さんが安心、信頼できるように働いている職員の方々は、患者さん一人一人に優しく接していました。新武雄病院は、365日24時間救急対応をされています。救急車が来ると直ちに処置をしている様子を見て、患者さんを助ける事が優先と感じました。2つ目は、仕事の大変さです。病院は患者さんの命に関わる事が多いので、1つ間違えたら大変な事になります。やることを1つ1つ自覚を持ってやらなければいけないと思いました。

将来は医師になりたいそうです。是非実現して欲しいですね。
(看護部 國本・大江)

院内旅行 霧島神社へ行ってきました



11月に鹿児島島の霧島神社へ行ってきました。パワースポットということもあり、参拝客が多く見うけられました(中には七五三できている方もいた)。菊の御紋の鳥居を抜けて中にはいると、君が代で有名なさざれ石があり、皆さんの大部分は石にかかれた文字をみながら「さざれ石の〜」と歌って奥に入っていました。まず参拝しようとお手水をしていると横に大木があり「これがパワーを発しているかも」と思いました。参拝をして、私たちはおみくじに夢中になり、結果に一喜一憂しました。2回おみくじをひいている人もいたと思います。パワーのおかげか、私は一度もひいたことのない大吉をひくことができ、うれしかったです。パワーをそれで使いきってしまったように、帰ったら頑張ってお仕事しようと思いました。
(医事課 高倉)

院内旅行 ラフティングに行ってきました

9月中旬に熊本 球磨川でのラフティングに行ってきました。ラフティングとは、ボートを使っての川下りのことです。

集合時間は朝の8時で皆さん遅れることなく無事に出発し、約3時間バスに揺られ、11時頃に熊本にあるホテルに到着し、先に昼食となりました。内容は川魚メインの会席料理で鮎の塩焼きがおいしかったのを覚えています。その際に、ラフティング中に不慮の事故で死んでも責任を負いませんという署名にサインをさせられました。現地へ到着すると、まずインストラクターから説明と注意点を受けた後に川の中へと入って行きました。9月中旬でしたが、川の中は思った以上に冷たく凍える思いをしました。

ラフティングはただ川を下るだけではなく、何か所かのポイントで崖の上から飛び込んだり、ターザンの様な事をしたりと様々なオプションがついており楽しかったです。当時、渾身だった事もあり川の流れば穏やかでしたが、急流になると6人乗りのボートが大きく揺れ180cmある男性でもお尻が浮き上がるほどの衝撃が味わえました。

終盤に差し掛かると、体を冷やした事もあってか急な腹痛と便意に見舞われ一人だけ笑えない状況にもっていかれたのが辛い思い出です(笑)

(医事課 森)



食事で免疫力を高めましょう!

寒さも厳しくなり、体調を崩しやすい季節になりました。風邪などひいた時には、発熱などによって代謝が高まり、エネルギー消費量が増えるので、エネルギー源を補給する事がポイントとなります。特に熱がある時は、十分な水分とビタミン、ミネラルをとりましょう。

風邪やインフルエンザの予防には、ビタミンA、Cをしっかりとり粘膜を強化し、ウイルスの侵入を防ぐ事が大切です。

ビタミンAはレバー、うなぎ、南瓜、人参などに含まれます。体内でビタミンAにかわるカロテンは南瓜、人参に含まれ、油と一緒に調理する事で

吸収がアップします。ビタミンCは、イチゴ、柑橘類やブロッコリーなどの野菜、じゃが芋に多く含まれます。忙しい人は、果物や野菜をジュースにするといいでしょう。また、生姜は体を温める作用があり、風邪の初期に有効です。



(栄養科 織田)

武雄ご紹介コーナー ③

たけおじゃら〜ん

今回は、武雄温泉にある殿様湯をご紹介します。江戸時代中期に領主の武雄鍋島氏の専用風呂として造られた総大理石のお風呂です。

「江戸散歩紀行」には、武雄を訪れたシーボルトが殿様湯に入浴した様子が紹介されているそうです。武雄温泉楼門にあります。新春にいかがでしょうか。



利用料金

- 1室1時間/3,800円
- 平日割引料金/3,300円
- 営業時間/10:00~23:00

武雄温泉の効能

疲労回復、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、関節のこわばり、うちみ、くじき、健康増進、禁忌

(医事課 高倉)



社団法人 巨樹の会

新武雄病院

T843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡11083番地

TEL:0954-23-3111 FAX:0954-23-0208

ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>

Eメール info@shintakeo-hp.or.jp